

I 寝屋川市の概要

1 市の概要

寝屋川市は、大阪府の東北部、淀川左岸に位置し、大阪市域の中心より 15 km、京都市域の中心より 35 km の距離にあります。

また、本市の東部は交野市、西部は淀川を境として高槻市、摂津市に接し、南部は守口市、門真市、大東市及び四條畷市と、北部は枚方市に接し、北河内地域の中心部に位置しています。

市の地勢は、東部丘陵地帯と西部平坦地帯の二つに大別され、丘陵地帯は生駒山系の一部をなし海拔約 50m です。平坦地帯は主として沖積層からなる海拔 2～3 m の平地です。

○ 市の広さ

面積	24.73 km ²
東西	6.89 km
南北	7.22 km

2 市の沿革

古代より生駒山系は人類の住みついたところで、本市の東部丘陵地帯はこの生駒山系に属し、市内の太秦地区には石器時代の古墳があります。

寝屋川市のある大阪東北部（旧北河内郡）は平野がひらけ、古くから穀倉地帯として農耕を営んでいました。江戸時代に入って、米作を中心に菜種、麦などのほか河内木綿の原料の綿を作り、丘陵地帯では茶、甘薯、筍の栽培などが盛んになってきました。

明治 22 年に町村制が施行され、市域に九個荘村、寝屋川村、豊野村、友呂岐村、水本村が成立しました。

また、明治 43 年には京阪電車が開通し、その沿線が徐々に発展の途をたどることになりました。

本市は、昭和 18 年に淀川沿いの平野部と東部丘陵地の 1 町 3 村をもって寝屋川町となり、昭和 26 年 5 月には人口約 3 万人で府内 16 番目の市として誕生しました。

こうした中で、大動脈である国道や衛星都市を結ぶ府道が完成、都市形態が整備されるにつれて、各企業が進出、本市は大きな変ぼうを遂げました。

昭和 36 年には水本村と合併、その後昭和 40 年代にかけて大阪都市圏のベッドタウンとして年間に 2 万人という爆発的な人口増が続くなど、かつては肥よくな田園地帯で豊かな緑と水に恵まれた自然の風土はだんだんと少なくなり住宅や工場が立ち並ぶ過密都市としての様相が強く現れてきましたが、昭和 50 年代に入るとその傾向もややおさまり、人口約 25 万人の都市となりました。その後、急激な人口増加はとまり、ほぼ 24 万人で安定し、人口の社会移動も減少するとともに定住化の兆しを示し、こうしたなか、平成 13 年には、特例市に昇格すると共に市制施行 50 周年を迎えました。

3 人口・世帯 (各年1月1日現在、外国人登録を含む)

	人口 (人)	世帯数 (世帯)	一世帯あたりの人口 (人)	1平方* ₀ あたりの人口密度 (人)	人口の前年比 (%)	平成16年を100とした場合の人口指数
16年	249,818	101,967	2.45	10,102	99.3	100.0
17年	248,318	102,658	2.42	10,041	99.4	99.4
18年	246,132	102,873	2.39	9,953	99.1	98.5
19年	244,914	103,654	2.36	9,904	99.5	98.0
20年	243,695	104,218	2.34	9,854	99.5	97.5

図1 人口の推移

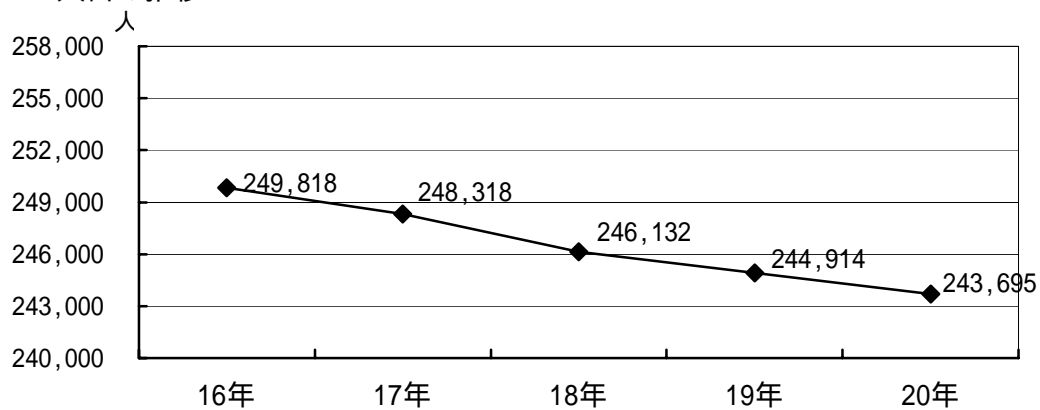


図2 世帯数の推移

